

# 上徳良地域まちづくり計画

平成29(2017)年3月

上徳良自治振興会  
(上徳良地域計画策定委員会)



## 目 次

序章	計画策定にあたって	1
1章	地域の概要	2
1	位置	2
2	人口・世帯数	3
3	土地利用，道路・交通	5
4	主要公共公益施設	5
2章	まちづくりに関するアンケート調査結果の概要	7
1	住民（16歳以上）	7
2	小中学生（小学4年生以上）	17
3	地域外からの勤務者	19
3章	地域の魅力・資源と問題点・課題	22
1	地域の魅力・資源	22
2	地域の問題点・課題	24
4章	まちづくり計画	25
1	地域の将来像	25
2	まちづくりの基本方針	27
3	まちづくりの基本計画	28
4	計画の推進体制	36
資料	計画策定の経緯	37



## 序章 計画策定にあたって

### 1 計画策定の目的

上徳良地域は、三原市大和地域中心部の下徳良に隣接して、比較的利便性に恵まれています。また、特徴のある農業、養鯉業が行われているほか、事業所が比較的多く立地し、産業活動が活発な地域です。しかし、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、自治振興会をはじめとする各種団体の担い手が不足してきています。また、人口減少を背景として小学校をはじめとする公共公益施設、商店などが徐々に減少してきており、地域の活力が失われてきています。

こうした状況を打開するには、自分たちの地域のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力してまちづくりに取り組むことが一段と重要になっています。

このため、上徳良自治振興会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、誰もが誇りを持ち、自慢できるまちづくりを目指して「上徳良地域まちづくり計画」の策定に取り組みました。

### 2 計画の役割

「上徳良地域まちづくり計画」は、上徳良自治振興会が地域内の各種団体などと連携して取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などでまちづくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、上徳良地域出身者、都市住民など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

### 3 計画策定への取り組み

上徳良自治振興会では、各種団体の代表者などの参加のもとに「上徳良地域計画策定委員会」を設置し、「上徳良地域まちづくり計画」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、16歳以上の住民及び小中学生へのアンケート調査の実施、住民全員を対象とした上徳良地域まちづくり意見交換会（ワークショップ）（16歳以上の住民と小中学生に分けて開催）を行いました。

### 4 計画の期間

計画の期間は、平成29(2017)～33(2021)年度までの5年間とします。

# 1章 地域の概要

## 1 位置

本地域は、三原市の北部に位置しています。

地域中心部（上徳良コミュニティホーム）から主要な場所まで車を利用した場合の所要時間は、三原市中心部（三原市役所）まで約35分です。また、広島空港まで約20分、山陽自動車道三原久井インターチェンジまで約15分、JR三原駅及び三原港まで約35分です。

図 上徳良地域の位置



## 2 人口・世帯数

### (1) 人口の動向

本地域の総人口を国勢調査で見ると、平成27(2015)年で580人になっており、過去5年間で約80人減少しています。

年齢3区分別人口をみると、平成27(2015)年で0～14歳60人、15～64歳267人、65歳以上253人になっており、高齢化率は43.6%になっています。

年齢別人口の推移をみると、過去5年間で0～14歳は微減、15～64歳は減少、65歳以上は増加となっています。

表 人口の推移

(単位：人，%)

区 分		実 数			増減数	
		H17 (2005)年	H22 (2010)年	H27 (2015)年	H22(2010)－ H17(2005)	H27(2015)－ H22(2010)
実数	0～14歳	84	63	60	△21	△3
	15～64歳	391	351	267	△40	△84
	65歳以上	231	237	253	6	16
	不 詳	-	8	-	8	△8
	合 計	706	659	580	△47	△79
割合	0～14歳	11.9	9.6	10.3	-	-
	15～64歳	55.4	53.2	46.1	-	-
	65歳以上	32.7	36.0	43.6	-	-
	不 詳	-	1.2	-	-	-

### (2) 世帯数の動向

本地域の総世帯数を国勢調査で見ると、平成27(2015)年で220世帯になっており、過去5年間で18世帯減少しています。

1世帯当たり世帯人員は平成27(2015)年で2.6人になっており、過去5年間で0.2人減少しています。

表 世帯数等の推移

区 分	実 数			増減数	
	H17 (2005)年	H22 (2010)年	H27 (2015)年	H22(2010)－ H17(2005)	H27(2015)－ H22(2010)
世帯数(世帯)	233	238	220	5	△18
世帯人員(人)	3.0	2.8	2.6	△0.2	△0.2

### (3) 人口の将来見通し

平成22(2010)年から平成27(2015)年の国勢調査人口の推移が継続した場合の人口の将来見通しを推計すると、計画策定年次(平成28(2016)年)から10年後の平成38(2026)年には403人になり、平成27(2015)年と比較して約180人減少するものと見込まれます。また、高齢者数は今後減少しますが、高齢化率は平成38(2026)年に約52%と増加するものと見込まれます。

注：人口の将来見通しは、平成22(2010)年から平成27(2015)年の男女別5歳階級別の人口の推移率を求め、その推移率が将来も継続するものとして推計しました。(例：平成22(2010)年の女性の0～4歳人口5人→平成27(2015)年の女性の5～9歳人口4人の場合は、推移率が0.800になります。)

図 年齢別人口の将来見通し

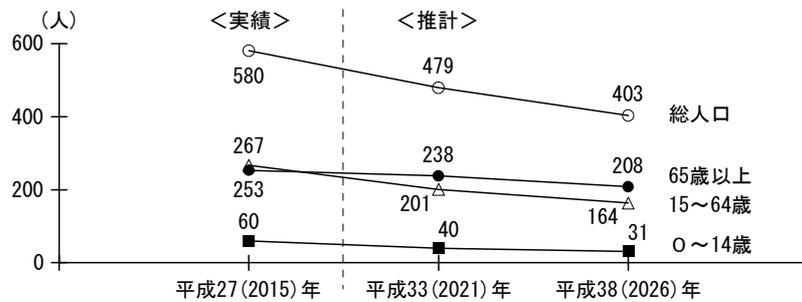
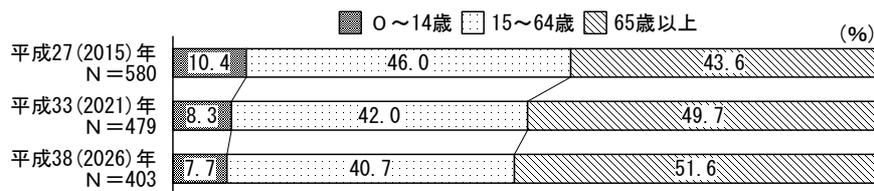


図 年齢別人口割合の将来見通し



### 3 土地利用，道路・交通

本地域は，徳良川，前谷川及び信末川などの河川に沿って帯状に農地・集落が広がっていますが，小規模に分散しているほか，高低差があります。また，こうした農地・集落の周辺をなだらかな山並みが囲んでいます。

道路網は，本地域西部に山陽自動車道の各インターチェンジ（三原久井，本郷，河内）及び広島空港と世羅町中心部を連絡する主要地方道本郷大和線が南北に走っています。また，一般県道大和久井線が東西に走り，大和地域の中心部（下徳良）と連絡しています。さらに，一般県道津口国兼線及び上徳良久井線が南北方向に走っているほか，主要地方道本郷大和線と一般県道上徳良久井線を連絡する市道があり，これら5路線が地域を連絡する骨格道路になっています。

公共交通機関としては，大和地域中心部と三原地域中心部を連絡する路線バスが運行しています。

### 4 主要公共公益施設

本地域には，集会施設として上徳良コミュニティホームがあるほか，スポーツ施設として上徳良山村広場（ふれあいパーク）があります。また，これら施設と隣接して地域の憩い場になっている堂々原公園があります。一方，旧神田東小学校については，自治振興会を通じて既に地域で活用しないことを三原市に伝えており，現在三原市が跡地利用を検討しています。

また，買い物や通院は，主に隣接する大和地域の中心部（下徳良）や世羅町中心部に依存しています。

表 上徳良地域の主要公共公益施設

区 分	名 称
集会施設	上徳良コミュニティホーム
スポーツ施設	上徳良山村広場（ふれあいパーク）
その他	堂々原公園

図 上徳良地域の公共公益施設



## 2章 まちづくりに関するアンケート調査結果の概要

本調査は、住民（16歳以上）、小中学生（小学4年生以上）、地域外からの勤務者の方の意見を把握し、「上徳良地域まちづくり計画」の策定に反映するために行ったもので、調査票の回収件数は住民（16歳以上）の方470件、小中学生（小学4年生以上）の方30件、地域外からの勤務者の方44件でした。

### 1 住民（16歳以上）

#### (1) 回答者自身について

回答者の性別は、「男性」46.2%、「女性」45.7%です。年齢は、65歳以上が約5割を占めています。家族構成は、二世帯（「子どもと同居」＋「親と同居」）が44.5%で最も割合が高くなっています。一方、「一人暮らし（65歳以上）」と「夫婦二人暮らし（二人とも又はどちらかが65歳以上）」を合わせた割合が約3割を占めています。

職業は、「無職（専業主婦（夫）を含む）」が28.5%、「会社団体の役員又は職員、公務員、サラリーマン」24.5%、「農林漁業（主に従事している人）」21.7%などです。

図 性別

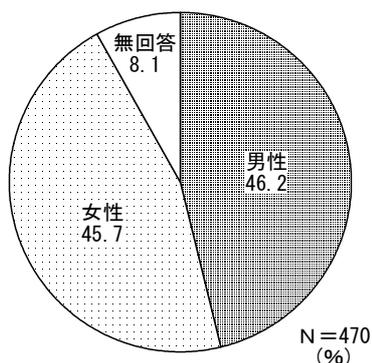


図 年齢

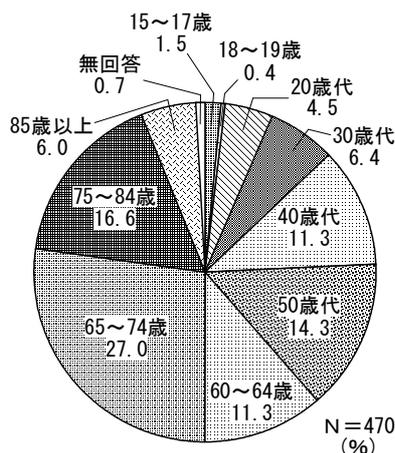


図 家族構成

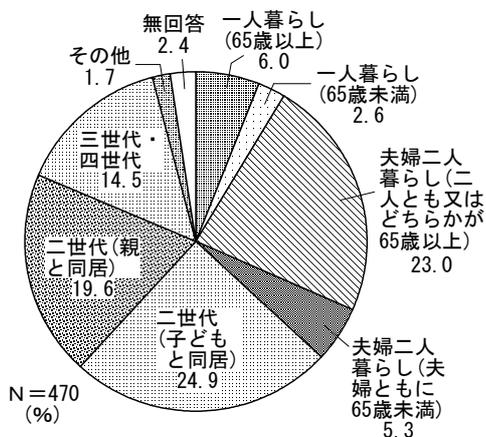
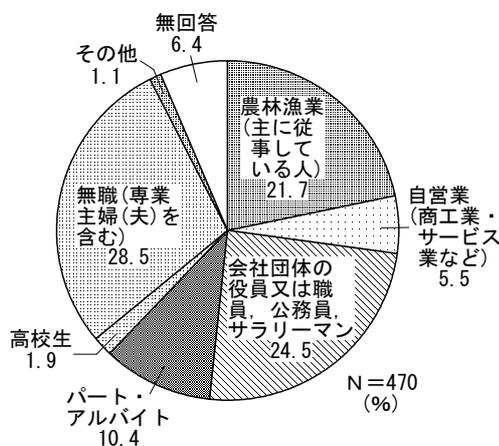


図 職業



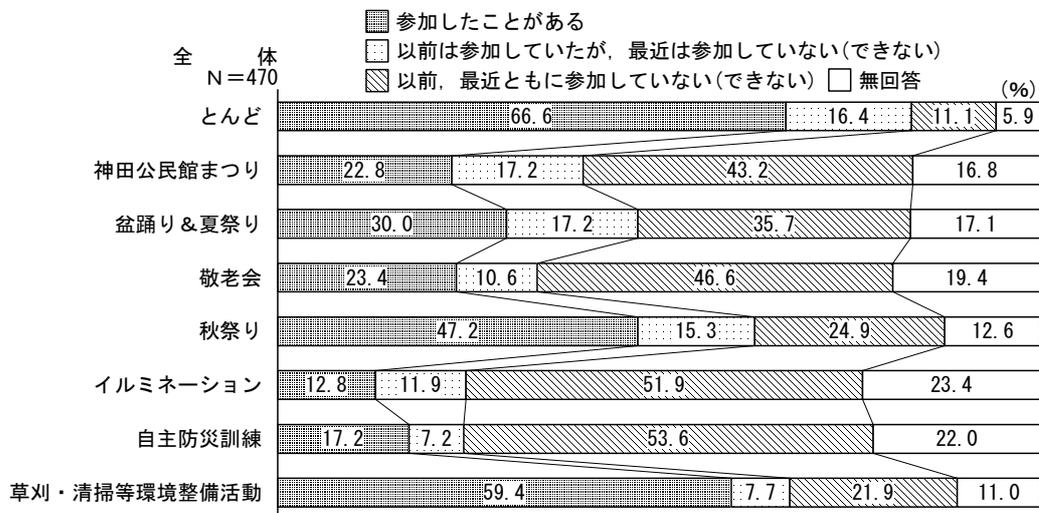
## (2) 行事・活動への参加状況と満足度

### ア 行事・活動への参加状況

行事・活動へ「参加したことがある」と答えた人をみると、「とんど」が66.6%で最も割合が高く、次いで「草刈・清掃等環境整備活動」59.4%、「秋祭り」47.2%の順で、これら3項目で4割以上になっています。

また、「以前、最近ともに参加していない(できない)」と答えた人をみると、「自主防災訓練」及び「イルミネーション」で50%台、「神田公民館まつり」及び「敬老会」で40%台と割合が高くなっています。

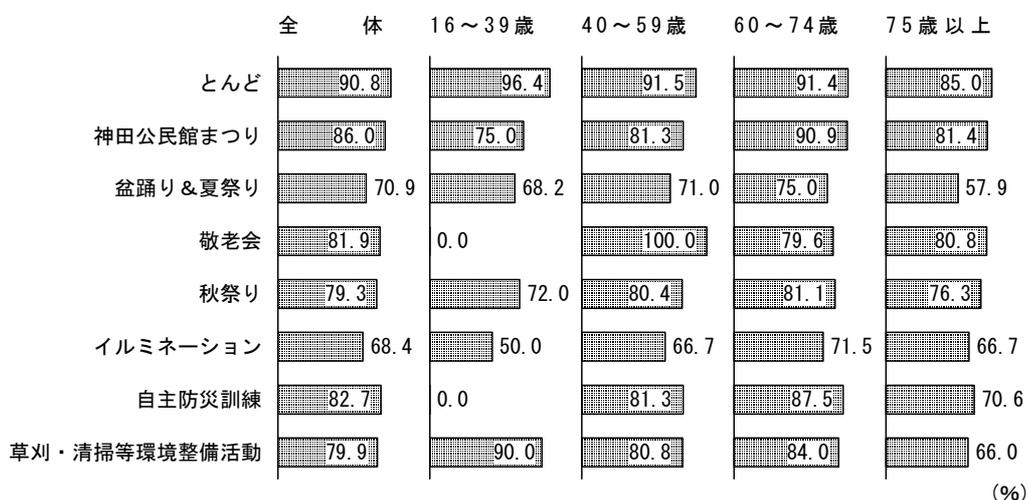
図 行事・活動への参加状況



### イ 行事・活動に参加した人の満足度

行事・活動へ参加している人の満足度（「良い」と「やや良い」を合わせた割合）をみると、90%台1項目、80%台及び70%台3項目、60%台1項目で、「イルミネーション」及び「盆踊り&夏祭り」が70%前後と割合がやや低くなっています。

図 行事・活動の満足度



### ウ 行事・活動に関する意見

行事・活動に関する意見（自由記述）を項目別に整理すると30件でした。

その内容をみると、みんなに会えて楽しいことなどを理由として行事・活動の継続を望む意見がありました。

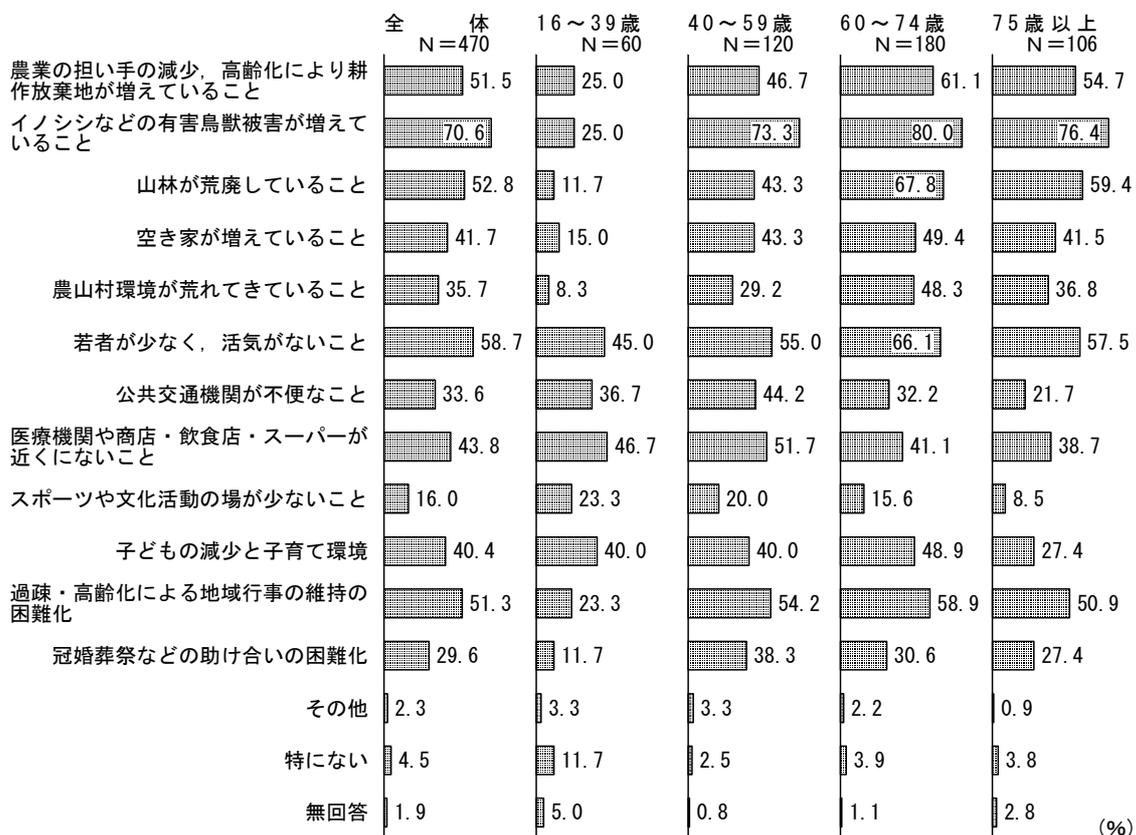
一方で、行事・活動への参加者が減少して、盛り上がり欠けること、PR不足、行事・活動を増やさないと欲しいなどが挙げられています。また、行事・活動を運営する役員へ感謝する意見がある一方で、役員の負担が大きいこと、役職が順番制であることへの不満、若者の参加が少ないことなどが挙げられています。

## (3) 地域の現状や将来のことでの不安や今後の居住意向

### ア 地域の現状や将来のことでの不安に思っていること

地域の現状や将来のことでの不安に思っていることは、「イノシシなどの有害鳥獣被害が増えていること」が70.6%で最も割合が高く、次いで「若者が少なく、活気がないこと」58.7%、「山林が荒廃していること」52.8%、「農業の担い手の減少、高齢化により耕作放棄地が増えていること」51.5%、「過疎・高齢化による地域行事の維持の困難化」51.3%の順で、これらの項目が上位5位を占めています。その他では、「医療機関や商店・飲食店・スーパーが近くにないこと」43.8%、「空き家が増えていること」41.7%、「子どもの減少と子育て環境」40.4%などの順です。

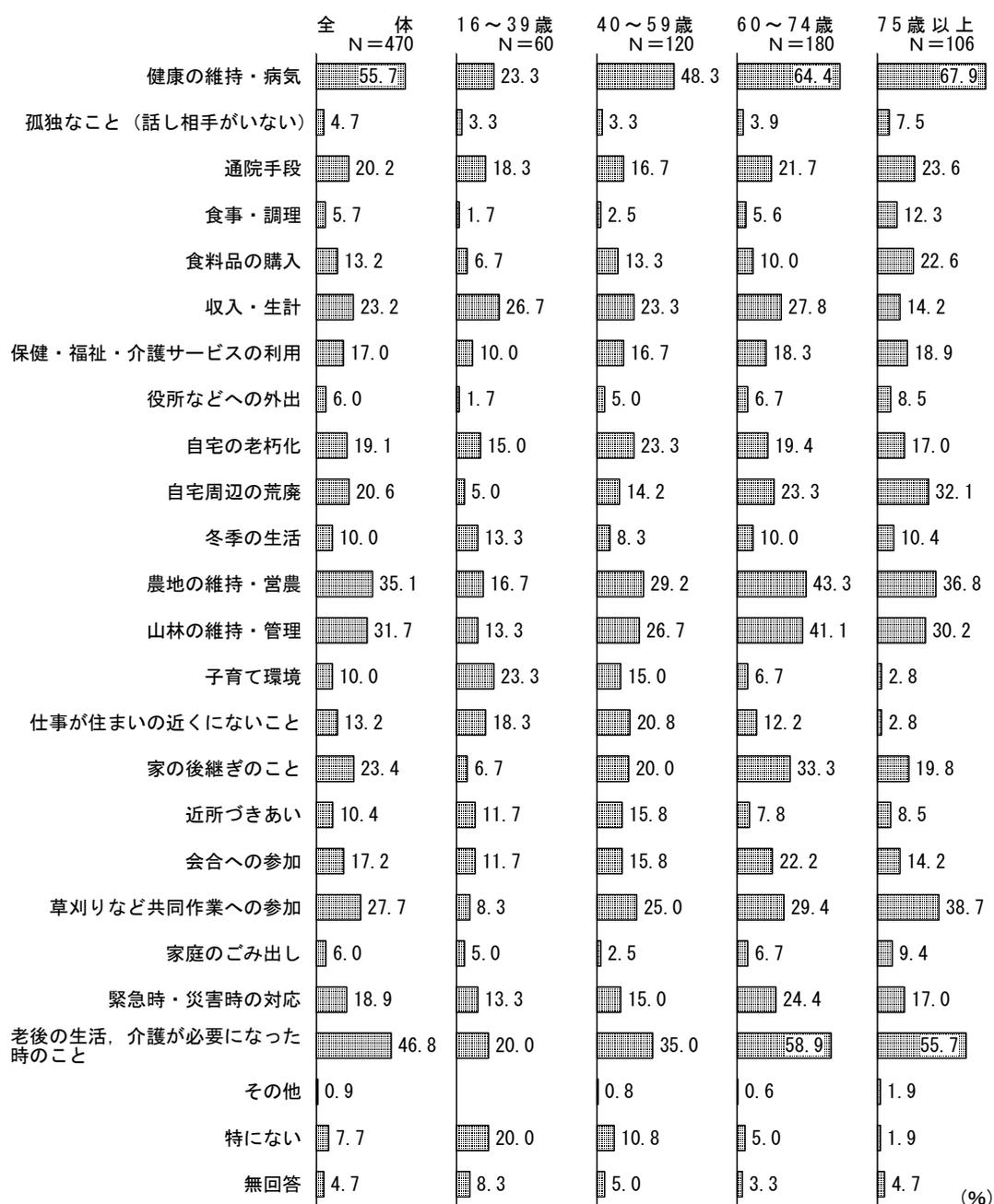
図 地域の現状や将来のことでの不安に思っていること（複数回答：いくつでも）



## イ 個人や家族のことで不安に思っていること

個人や家族のことで不安に思っていることは、「健康の維持・病気」が55.7%で最も割合が高く、次いで「老後の生活、介護が必要になった時のこと」46.8%、「農地の維持・営農」35.1%、「山林の維持・管理」31.7%、「草刈りなど共同作業への参加」27.7%の順で、これらの項目が上位5位を占めています。その他では、「家の後継ぎのこと」23.4%、「収入・生計」23.2%、「自宅周辺の荒廃」20.6%、「通院手段」20.2%などの順です。

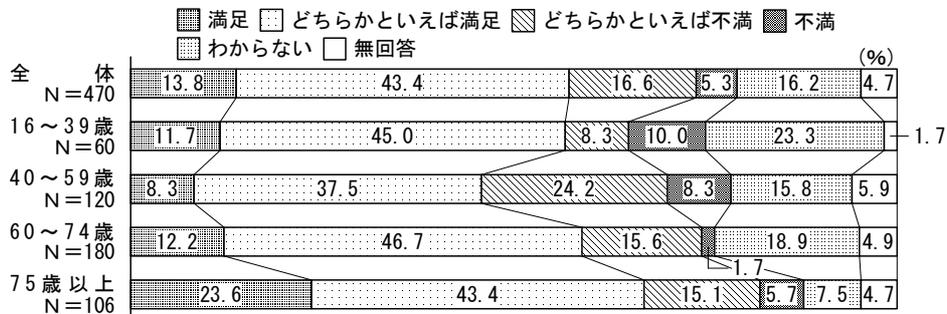
図 個人や家族のことで不安に思っていること（複数回答：いくつでも）



### ウ 地域の住みやすさの評価

地域の住みやすさについては、「満足」13.8%、「どちらかといえば満足」43.4%で、これらを合わせた住みやすさに満足している人の割合は約6割です。

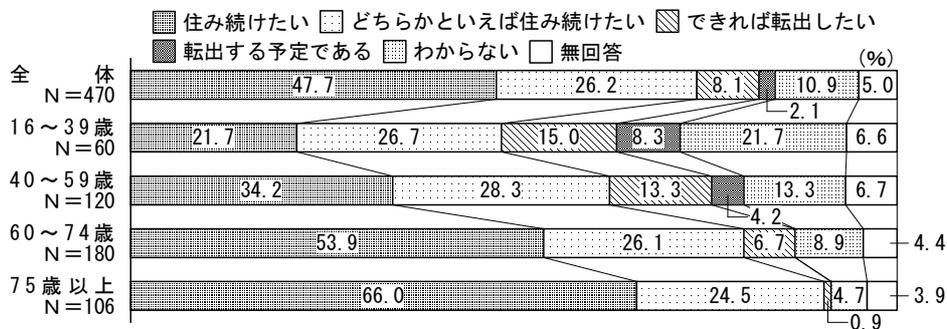
図 地域の住みやすさの評価



### エ 地域への今後の居留意向

地域への今後の居留意向は、「住み続けたい」47.7%、「どちらかといえば住み続けたい」26.2%で、これらを合わせた地域へ住み続ける意向の人は7割以上です。地域の住みやすさに満足している人は6割ですが、地域へ住み続ける意向の人は7割以上と割合が高くなっています。

図 地域への今後の居留意向



### オ 地域に住み続けたいと思う理由

地域に住み続ける意向の人の理由は、「先祖からの家や土地がある」が69.2%で最も割合が高く、次いで「長年住み慣れて愛着がある」65.1%、「家族がいるから」56.5%、「自然環境が良い」45.0%の順で、これら4項目を挙げた人の割合が高くなっています。

### カ 地域を転出したいと思う理由

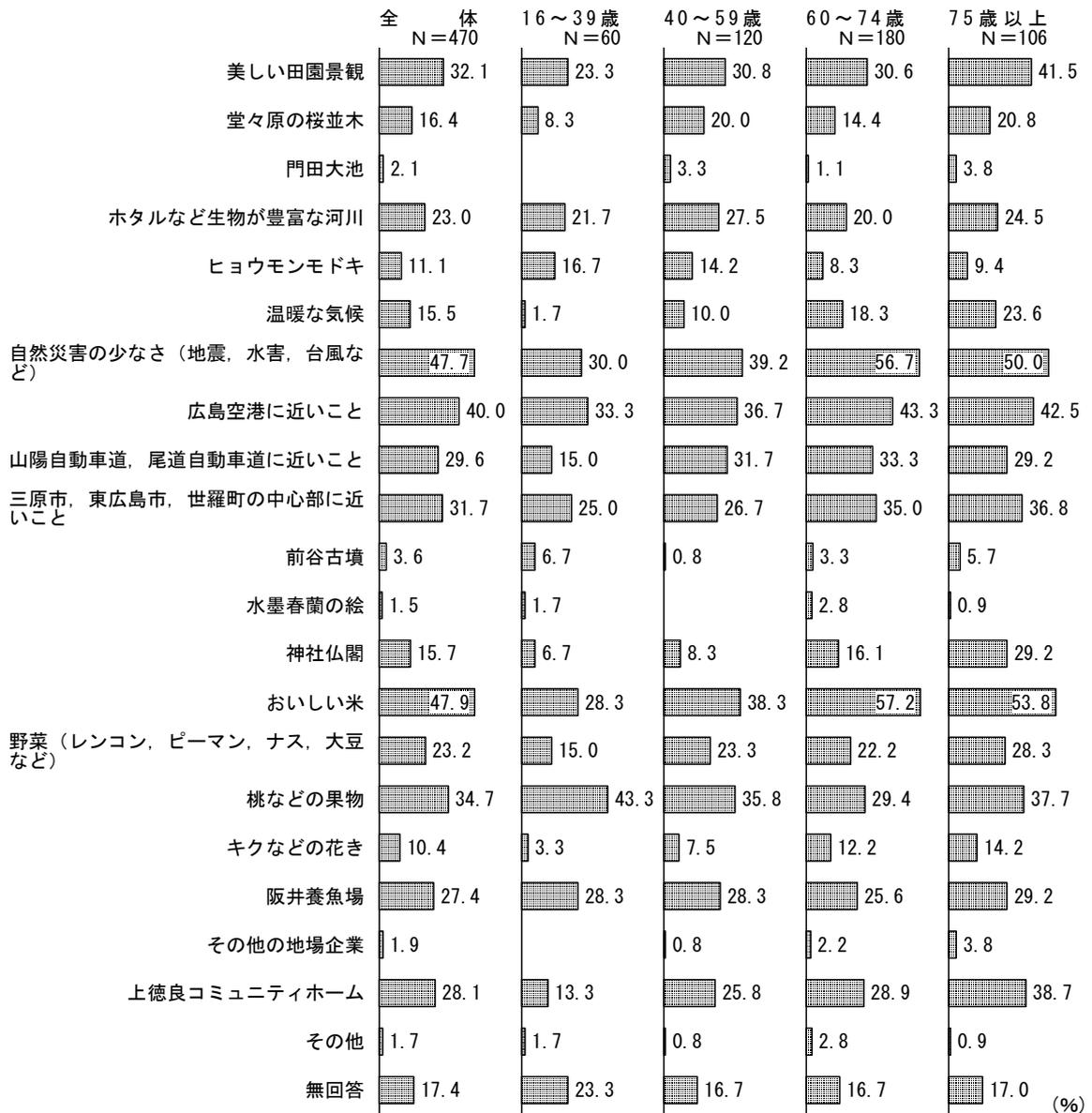
地域を転出する意向のある人の地域を転出したいと思う理由は、「交通条件が悪く不便」、「買い物や通院に不便」及び「老後の生活に不自由である」の3項目が50%台と割合が高くなっています。

#### (4) 今後のまちづくりについて

##### ア 地域で大事にしたい、活用したい資源

地域で大事にしたい、活用したい資源は、「おいしい米」が47.9%で最も割合が高く、次いで「自然災害の少なさ（地震、水害、台風など）」47.7%、「広島空港に近いこと」40.0%、「桃などの果物」34.7%、「美しい田園景観」32.1%の順で、これらの項目が上位5位を占めています。その他では、「三原市、東広島市、世羅町の中心部に近いこと」31.7%、「山陽自動車道、尾道自動車道に近いこと」29.6%、「上徳良コミュニティホーム」28.1%、「阪井養魚場」27.4%などの順です。

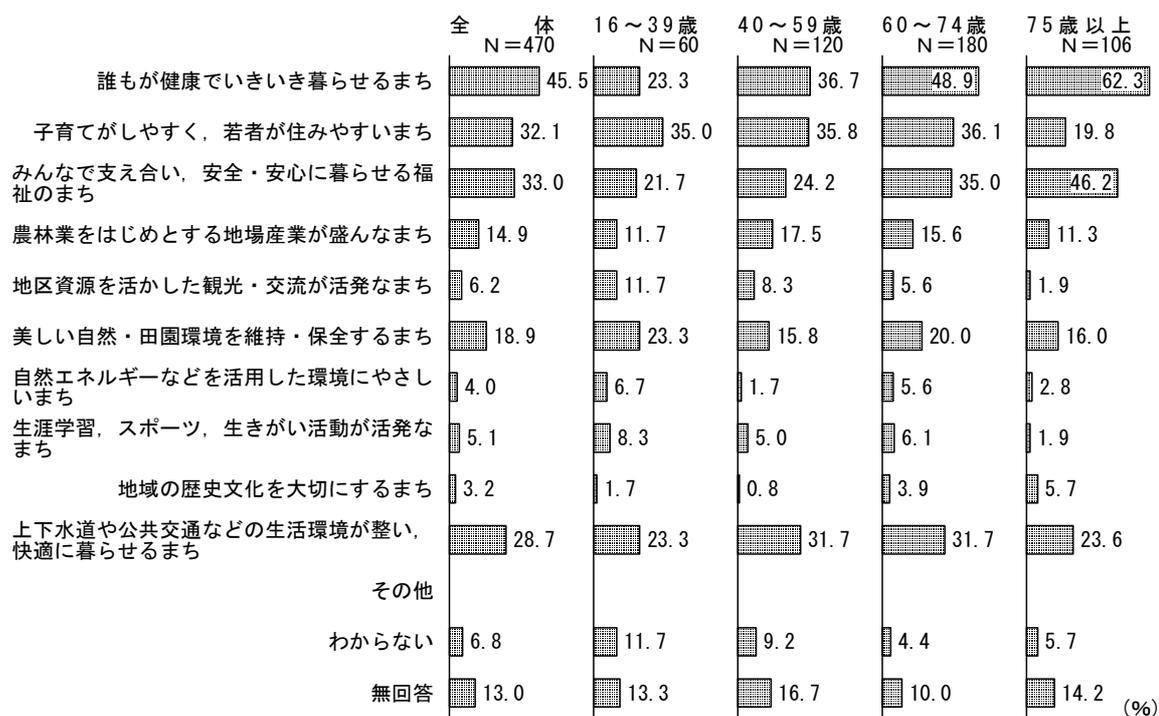
図 地域で大事にしたい、活用したい資源（複数回答：いくつでも）



## イ 地域の将来像

地域の将来像は、「誰もが健康でいきいき暮らせるまち」が45.5%で最も割合が高く、次いで「みんなで支え合い、安全・安心に暮らせる福祉のまち」、「子育てがしやすく、若者が住みやすいまち」及び「上下水道や公共交通などの生活環境が整い、快適に暮らせるまち」の3項目が30%前後になっています。

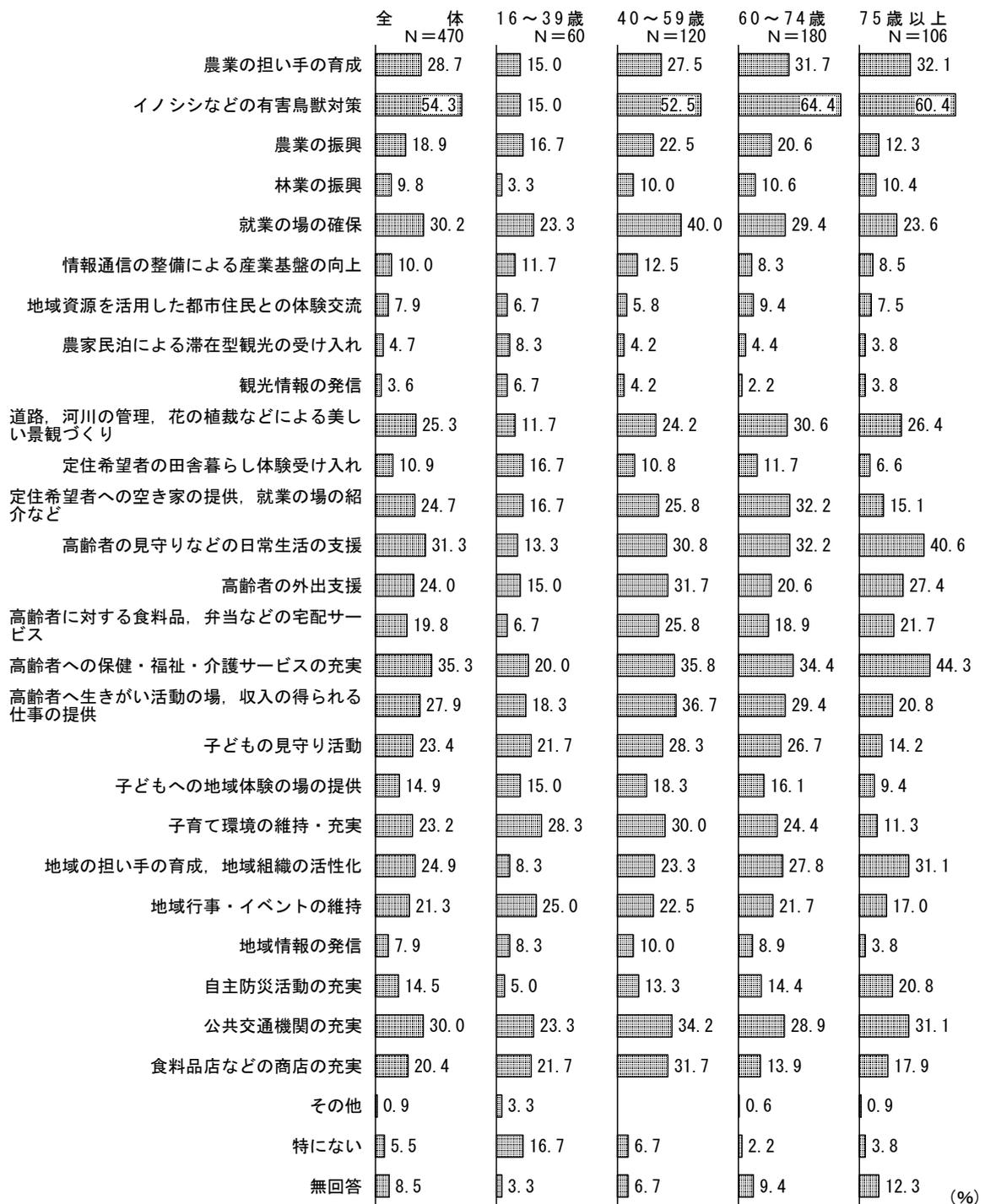
図 地域の将来像（複数回答：3つ以内）



### ウ 地域で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいこと

地域で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいことは、「イノシシなどの有害鳥獣対策」が54.3%で最も割合が高く、次いで「高齢者への保健・福祉・介護サービスの充実」35.3%、「高齢者の見守りなどの日常生活の支援」31.3%、「就業の場の確保」30.2%、「公共交通機関の充実」30.0%の順で、これらの項目が上位5位を占めています。

図 地域で今後取り組みたいこと、取り組んで欲しいこと  
(複数回答：いくつでも)



エ まちづくりにおいて、回答者自身が具体的に取り組んでみたいこと

まちづくりにおいて、回答者自身が具体的に取り組んでみたいこと（自由記述）を項目別に整理すると、「行事の維持・活性化」を挙げた人が14件で最も多く、次いで「小学校の跡地利用」、「農地の保全、農業の振興」、「高齢者、子育て世帯の支援」及び「地域環境の保全、美しい景観づくり」6件、「まちづくりの担い手として参加すること」及び「山林の保全、活用」5件などとなっており、幅広い分野での取り組みが挙げられています。

表 まちづくりにおいて、回答者自身が具体的に取り組んでみたいこと

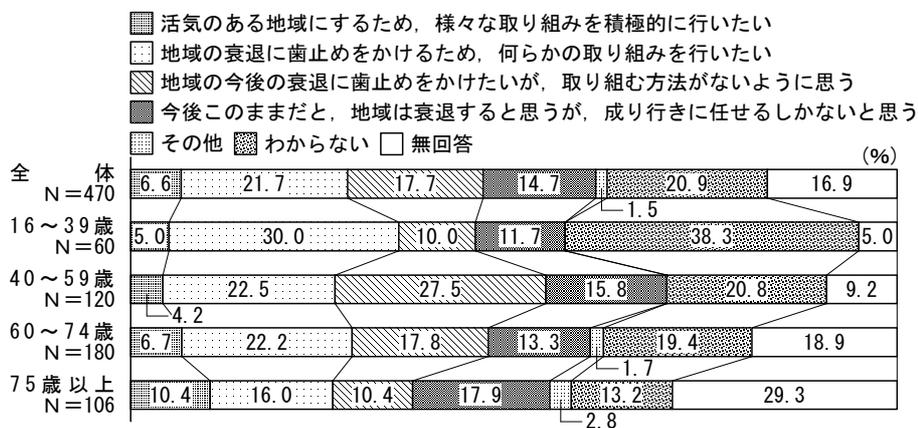
項目	件数(件)
まちづくりの担い手として参加すること	5
小学校の跡地利用（企業、商業施設、和木小学校の跡地利用を参考にするなど）	6
農地の保全、農業の振興（有機農法、センブリ栽培など）	6
山林の保全、活用（竹、木の活用、松茸山の再生など）	5
都市住民との交流（市民農園、ホテルの里の再生、田舎暮らし体験の提供など）	3
高齢者、子育て世帯の支援	6
地域内交流の場づくり（公園の整備など）	3
地域環境の保全、美しい景観づくり	6
行事の維持・活性化（地区単位で行っている行事の上徳良地域全体での開催、新規行事の開催、行事への積極的な参加など）	14
その他（地域のPR、軽水力発電など）	7
合計	61

(5) まちづくりへの参加について

ア 地域の活性化に向けての取り組み意向

地域の活性化に向けての取り組み意向については、「活気のある地域にするため、様々な取り組みを積極的に行いたい」6.6%、「地域の衰退に歯止めをかけるため、何らかの取り組みを行いたい」21.7%で、これらを合わせた地域の活性化を図るために何らかの取り組みをしたいと考えている人は28.3%です。

図 地域の活性化に向けての取り組み意向

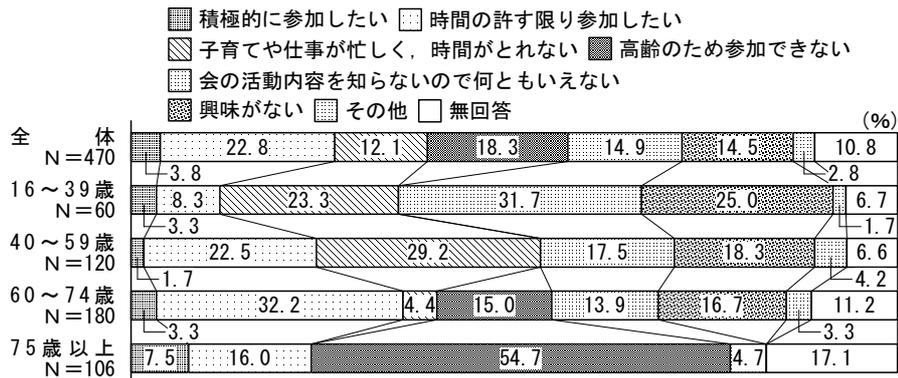


## イ 自治振興会活動への参加意向

自治振興会活動への参加については、「積極的に参加したい」3.8%、「時間の許す限り参加したい」22.8%で、これらを合わせた自治振興会の活動へ参加意向のある人は26.6%と少なくなっています。

また、「会の活動内容を知らないので何ともいえない」と「興味がない」を合わせた割合をみると、16～39歳で56.7%、40～59歳で35.8%になっており、自治振興会の活動への理解が不十分になっています。

図 自治振興会活動への参加意向



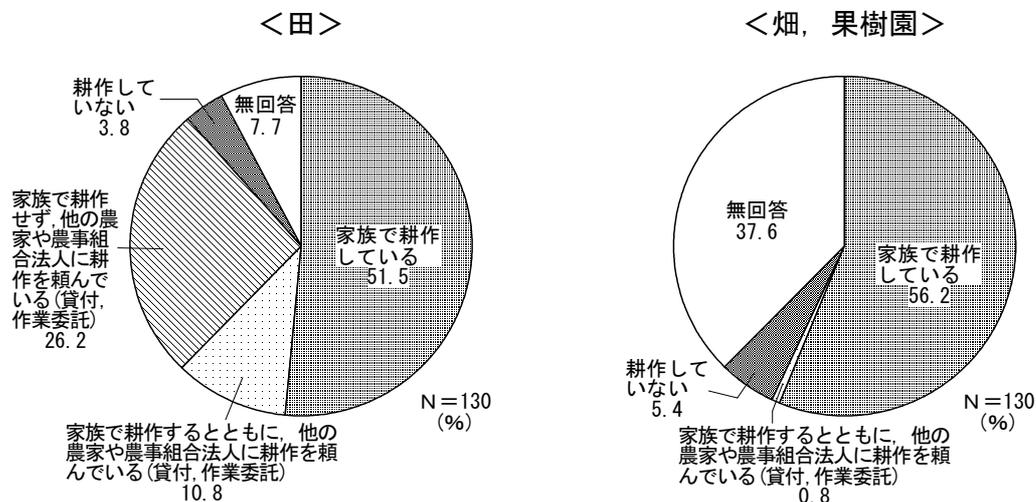
## (6) 農地の所有・耕作状況について

世帯主であると答えた人の農地の所有状況は約8割です。

田の現在の耕作状況は、「家族で耕作している」が51.5%で最も割合が高く、次いで「家族で耕作せず、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）」26.2%、「家族で耕作するとともに、他の農家や農事組合法人に耕作を頼んでいる（貸付、作業委託）」10.8%、「耕作していない」3.8%の順で、他の農家や農事組合法人に頼んでいる世帯が約4割です。

畑、果樹園の現在の耕作状況は、「家族で耕作している」が56.2%で、回答した人の大部分を占めています。

図 耕作状況



## 2 小中学生（小学4年生以上）

### (1) 回答者自身について

性別は、「男性」53.3%、「女性」46.7%です。

小中別で見ると、「小学生」40.0%、「中学生」56.7%です。

### (2) 地域の住みよさと今後の居留意向

#### ア 地域のすばらしいところ

地域のすばらしいところについての意見（自由記述）を項目別に整理すると35件で、その内容は、自然環境が豊かなこと、ヒョウモンモドキ・ホテル、地域の人がやさしいこと・結びつきが感じられることなどが挙げられています。

#### イ 好きな行事

好きな行事についての意見（自由記述）を項目別に整理すると30件で、その内容は、とんど9件、盆踊り&夏祭り8件、秋祭り及びイルミネーション4件などです。

#### ウ 地域の住みよさ

地域の住みよさは、「満足」40.0%、「どちらかといえば満足」33.3%で、これらを合わせた満足している人の割合は73.3%です。また、「どちらかといえば不満」6.7%、「不満」3.3%で、これらを合わせた不満のある人の割合は10.0%です。

#### エ 地域の住みよさに満足している人の理由

地域の住みよさに満足している人の理由（自由記述）として、人のやさしさ、豊かな自然環境などが挙げられています。

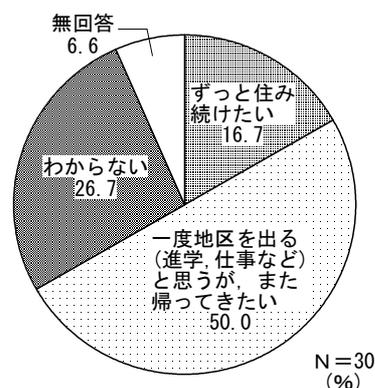
#### オ 地域の住みよさに不満な人の理由

地域の住みよさに不満な人の理由（自由記述）として、商店や子どもの遊び場がないことが挙げられています。

#### カ 地域への今後の居留意向

地域への今後の居留意向は、「ずっと住み続けたい」16.7%、「一度地域を出る（進学、仕事など）と思うが、また帰ってきたい」50.0%で、これらを合わせた地域に住む意向の人が66.7%になっています。

図 地域への今後の居留意向

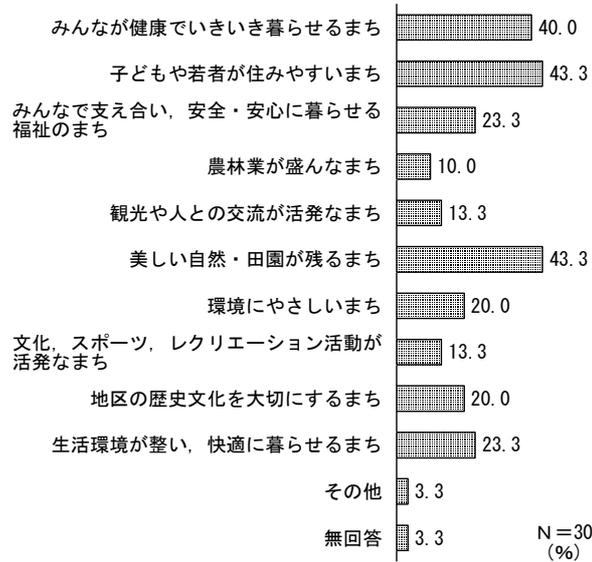


### (3) 今後のまちづくりについて

#### ア 地域の将来像

地域の将来像は、「子どもや若者が住みやすいまち」及び「美しい自然・田園が残るまち」43.3%、「みんなが健康でいきいき暮らせるまち」40.0%で、これら3項目の割合が高くなっています。

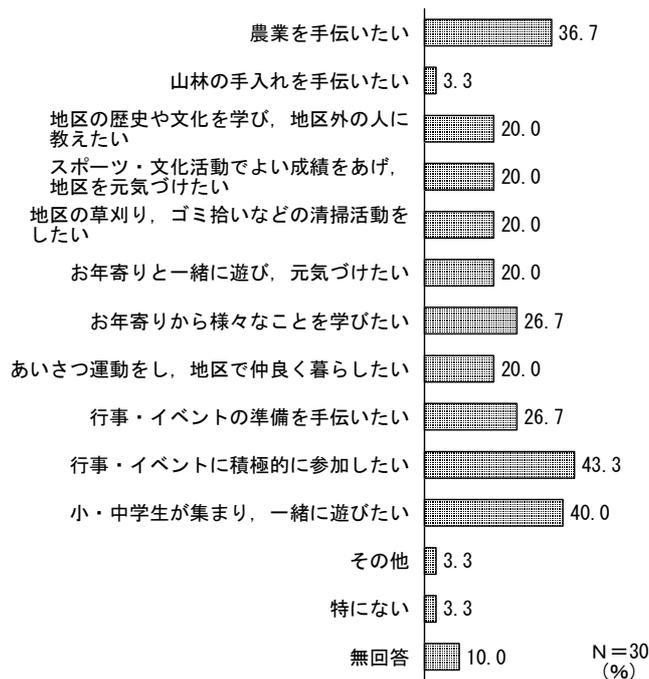
図 地域の将来像（複数回答：3つ以内）



#### イ 地域を住みよくするためにしたいこと

地域を住みよくするためにしたいことは、「行事・イベントに積極的に参加したい」43.3%、「小・中学生が集まり、一緒に遊びたい」40.0%、「農業を手伝いたい」36.7%の順で、これら3項目の割合が高くなっています。

図 地域を住みよくするためにしたいこと（複数回答：いくつでも）



### 3 地域外からの勤務者

#### (1) 回答者自身について

性別は、「男性」72.7%、「女性」27.3%です。

年齢は、「30歳代」が38.6%で最も割合が高く、次いで「29歳以下」及び「40歳代」18.2%、「60歳以上」13.6%、「50歳代」11.4%の順です。

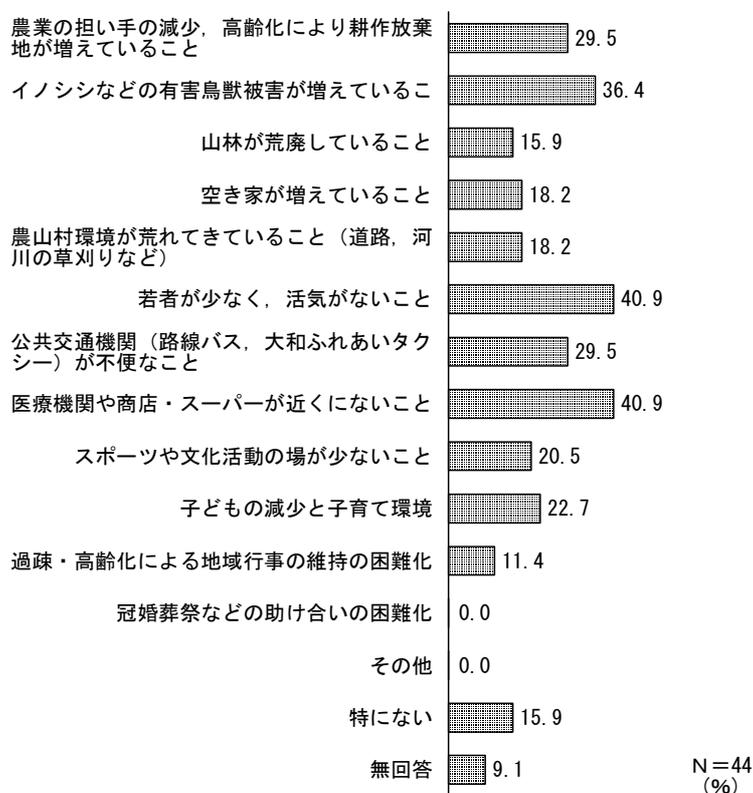
住まいは、「大和地域（上徳良地域外）」が52.3%で最も割合が高く、次いで「三原市外」25.0%、「三原地域」13.6%、「久井地域」4.5%、「本郷地域」2.3%の順です。

#### (2) 地域の現状や将来のことでの不安や今後の居住意向

##### ア 地域の現状や将来のことでの不安に思っていること

地域の現状や将来のことでの不安に思っていることは、「若者が少なく、活気がないこと」及び「医療機関や商店・飲食店・スーパーが近くにないこと」が40.9%で最も割合が高く、次いで「イノシシなどの有害鳥獣被害が増えていること」36.4%の順で、これら3項目の割合が高くなっています。その他では、「農業の担い手の減少、高齢化により耕作放棄地が増えていること」及び「公共交通機関（路線バス、大和ふれあいタクシー）が不便なこと」29.5%、「子どもの減少と子育て環境」22.7%、「スポーツや文化活動の場が少ないこと」20.5%などの順です。

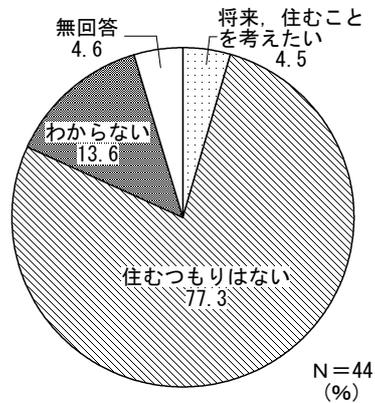
図 地域の現状や将来のことでの不安に思っていること（複数回答：いくつでも）



### イ 地域への今後の居留意向

地域への今後の居留意向をみると、「将来、住むことを考えたい」と答えた人が4.5%（2人）で、わずかですが移留意向のある人がいます。

図 地域への今後の居留意向



### ウ 地域に住みたい人の理由，地域に住みたくない人の理由

「将来、住むことを考えたい」と答えた人の理由としては、「仕事先に近い」，「自然環境が良い」が挙げられています。

地域に「住むつもりはない」と答えた人の理由としては、「住み慣れた場所がある」を挙げた人がほとんどです。

## (3) 今後のまちづくりについて

### ア 地域で大事にしたい，活用したい資源

地域で大事にしたい，活用したい資源は、「阪井養魚場」が38.6%で最も割合が高く，次いで「広島空港に近いこと」31.8%，「桃などの果物」29.5%，「ホテルなど生物が豊富な河川」及び「自然災害の少なさ（地震，水害，台風など）」27.3%の順で，これらの項目が上位5位を占めています。その他では，「おいしい米」22.7%，「山陽自動車道，尾道自動車道に近いこと」20.5%などの順です。

### イ 地域の将来像

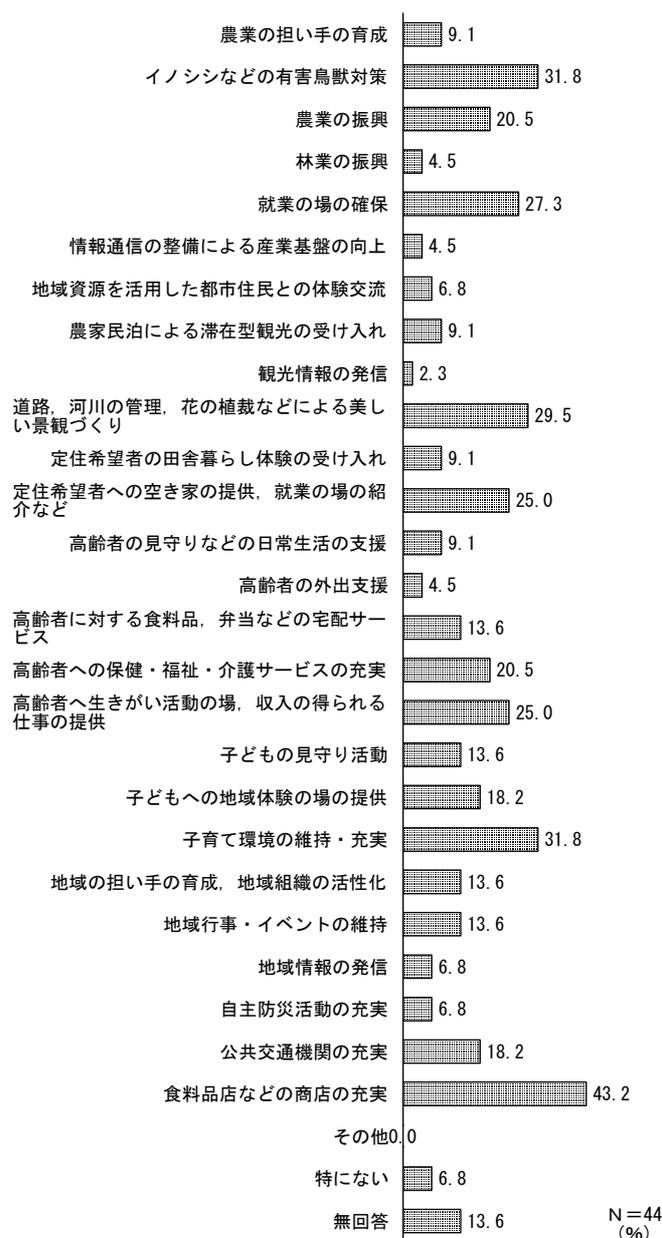
地域の将来像は，「子育てがしやすく，若者が住みやすいまち」が36.4%で最も割合が高く，次いで「誰もが健康でいきいき暮らせるまち」20.5%などの順です。

## ウ 地域で今後取り組んで欲しいこと

地域で今後取り組んで欲しいことは、「食料品店などの商店の充実」が43.2%で最も割合が高く、次いで「イノシシなどの有害鳥獣対策」及び「子育て環境の維持・充実」31.8%、「道路、河川の管理、花の植栽などによる美しい景観づくり」29.5%、「就業の場の確保」27.3%の順で、これらの項目が上位5位を占めています。

その他では、「定住希望者への空き家の提供、就業の場の紹介など」及び「高齢者へ生きがい活動の場、収入の得られる仕事の提供」25.0%、「農業の振興」及び「高齢者への保健・福祉・介護サービスの充実」20.5%などの順です。

図 地域で今後取り組んで欲しいこと（複数回答：いくつでも）



### 3章 地域の魅力・資源と問題点・課題

#### 1 地域の魅力・資源

アンケート調査結果及びまちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見を踏まえて、地域の魅力・資源を整理すると、次のとおりです。

区 分	魅力・資源
立 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島空港に近い</li> <li>・世羅町方面と広島空港を連絡する県道（フライトロードとフルーツロードを結ぶ道路）が走り，交通量が増加している</li> <li>・三原市，尾道市，東広島市の中心部に比較的近いこと</li> </ul>
気 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害が少ない（地震，水害，台風など）</li> <li>・温暖な気候</li> </ul>
自 然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特有の自然，山並みの美しさ，空気がきれい</li> <li>・標高が高い</li> <li>・津久～秋広の標高差</li> <li>・里地里山に生息する豊富な動植物</li> <li>・生物が豊富な河川（徳良川，前谷川，信末川）</li> <li>・湧き水がある，水脈が良い，水が豊富</li> <li>・堂々原公園一帯（桜並木，堂々原川のすばらしい溪谷，ホタル）</li> <li>・サツキロード</li> </ul>
歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺院（照明寺，宝生寺）</li> <li>・歯の神様，風邪の神様がいる</li> <li>・宝伝説（宝泉）</li> </ul>
観 光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグラン大和</li> <li>・明谷に以前，沸かしの湯があった</li> </ul>
産 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい米</li> <li>・特徴のある農業（桃，ブドウ，イチゴ，レンコンなどの生産）</li> <li>・世界有数の錦鯉の養殖（阪井養魚場）</li> <li>・事業所が多い</li> <li>・事業所がまちづくりに参画（イルミネーション，ポニー牧場など）</li> <li>・竹が豊富</li> </ul>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい田園景観</li> <li>・空き家，休耕田</li> <li>・旧神田東小学校（体育館，グラウンドの使用）</li> <li>・上徳良コミュニティホーム</li> </ul>
地域行事 地域活動 ・人材	<地域行事> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イルミネーション</li> <li>・地域全体の夏祭り・盆踊り，地区のとんど</li> <li>・祭りの山車</li> </ul>
	<地域活動・近隣関係> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の草刈り，河川清掃などの共同作業</li> <li>・地域それぞれの結束力</li> <li>・気軽に話ができる人間関係</li> </ul>
	<グループ・人材> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー津久（まちづくりグループ），福祉会など各種団体の活動が活発</li> <li>・自然環境を大切にする心，やさしい人柄</li> </ul>

図 地域の魅力・資源



## 2 地域の問題点・課題

まちづくりに関するアンケート調査結果及びまちづくり意見交換会（ワークショップ）での意見を踏まえて、地域の問題点・課題を整理すると、次のとおりです。

表 地域の問題点・課題

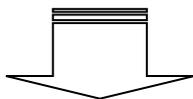
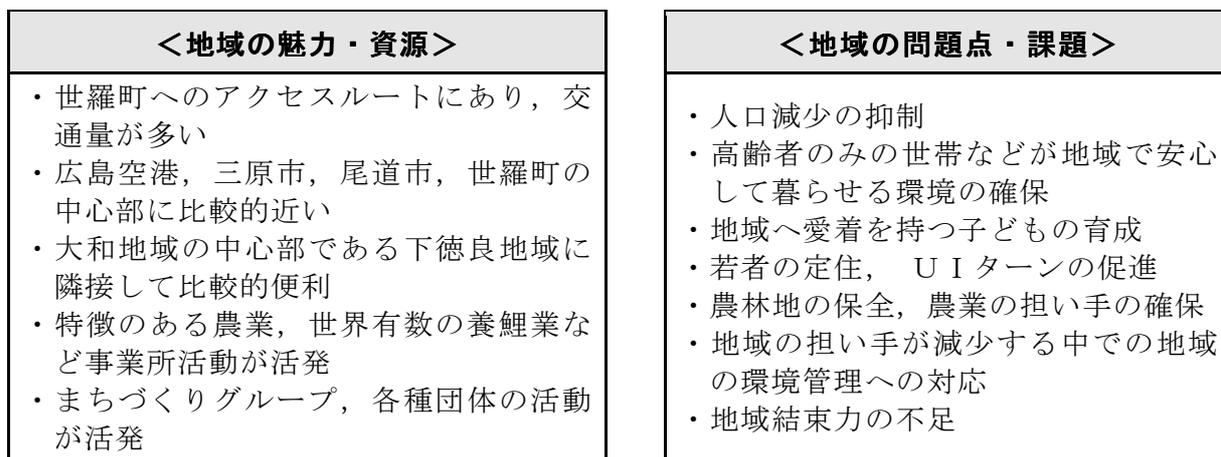
区 分	問題点・課題	
高齢者の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし，高齢夫婦など高齢者のみの世帯，昼間一人になる高齢者などの見守り，生活相談などへの対応</li> <li>・通院，買い物などの移動手段の確保</li> <li>・ゴミの分別，ゴミ出し，共同作業への参加などの日常生活の困りごとへの対応</li> <li>・運転に不安のある高齢者の運転による交通事故の不安</li> <li>・高齢者の交流，生きがい活動の場の確保（高齢者が集まる場所），</li> <li>・災害時などにおける支援体制の確保</li> </ul>	
人口減少 ・若者の定住・子育て	<p>&lt;人口減少・若者の定住&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が少ない，地域に残らない，一度出ると帰って来ないなどへの対策</li> <li>・若者向けの就業機会，住宅の確保</li> </ul> <p>&lt;子育て環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの交流機会の確保（小学校の閉校，同級生が分散している）</li> <li>・近くに小児科がなく，緊急時の不安が大きい</li> <li>・中学生，高校生の通学手段の確保</li> </ul>	
農林地・農林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣（イノシシなど）被害への対応</li> <li>・農業の担い手の減少と遊休農地の増加への対応</li> <li>・農業所得への不安</li> <li>・山林の荒廃化への対応</li> </ul>	
生活環境	生活サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗，医療機関がなく不便</li> <li>・上下水道が未整備</li> </ul>
	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（主）本郷大和線の交通量が多いが，歩道が未整備</li> <li>・県道，市道の幅員が狭く，歩道が未整備</li> <li>・公共交通機関が不便（路線バスのみで便数が少ない）</li> <li>・県道を走る車両の運転マナーが悪く，危険</li> </ul>
	環境管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の管理が不十分（火災発生の不安，放置されている）</li> <li>・河川の水質悪化への対応</li> <li>・井戸水に鉄分が多い</li> <li>・住民の高齢化に伴いサツキロードの管理が困難化</li> <li>・野犬が多く，危険</li> </ul>
	防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川に土砂が堆積して流路が狭くなっており，水害の不安</li> <li>・水路が狭く，水が溢れる場所がある</li> <li>・夜間の道路が暗い</li> </ul>
地域行事 地域活動 ・人材	地域行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とんど，盆踊り，秋祭りなどの参加者の減少</li> <li>・行事のマンネリ化，魅力不足</li> <li>・行事参加者の確保が難しい</li> <li>・上徳良地域全体の行事が少なく，交流機会が少ない</li> </ul>
	地域活動・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内情報の伝達不足（特に，若者世帯）</li> <li>・上徳良地域全体での結束力に乏しい，まとまりがない</li> <li>・6地区単位の活動が主で，上徳良全体の交流の場の不足</li> <li>・気軽に集まれる場所がない，若者など世代間交流の場の不足</li> <li>・自治振興会の役をする住民の減少，担い手不足への対応</li> <li>・自治振興会活動における若者の参加促進への対応</li> </ul>

## 4章 まちづくり計画

### 1 地域の将来像

地域の将来像は、本地域の魅力・資源や問題点・課題に関する意見などを踏まえて“強い絆のもと、地域に誇りを持ち健やかに暮らす 上徳良”を掲げます。

図 上徳良の将来像

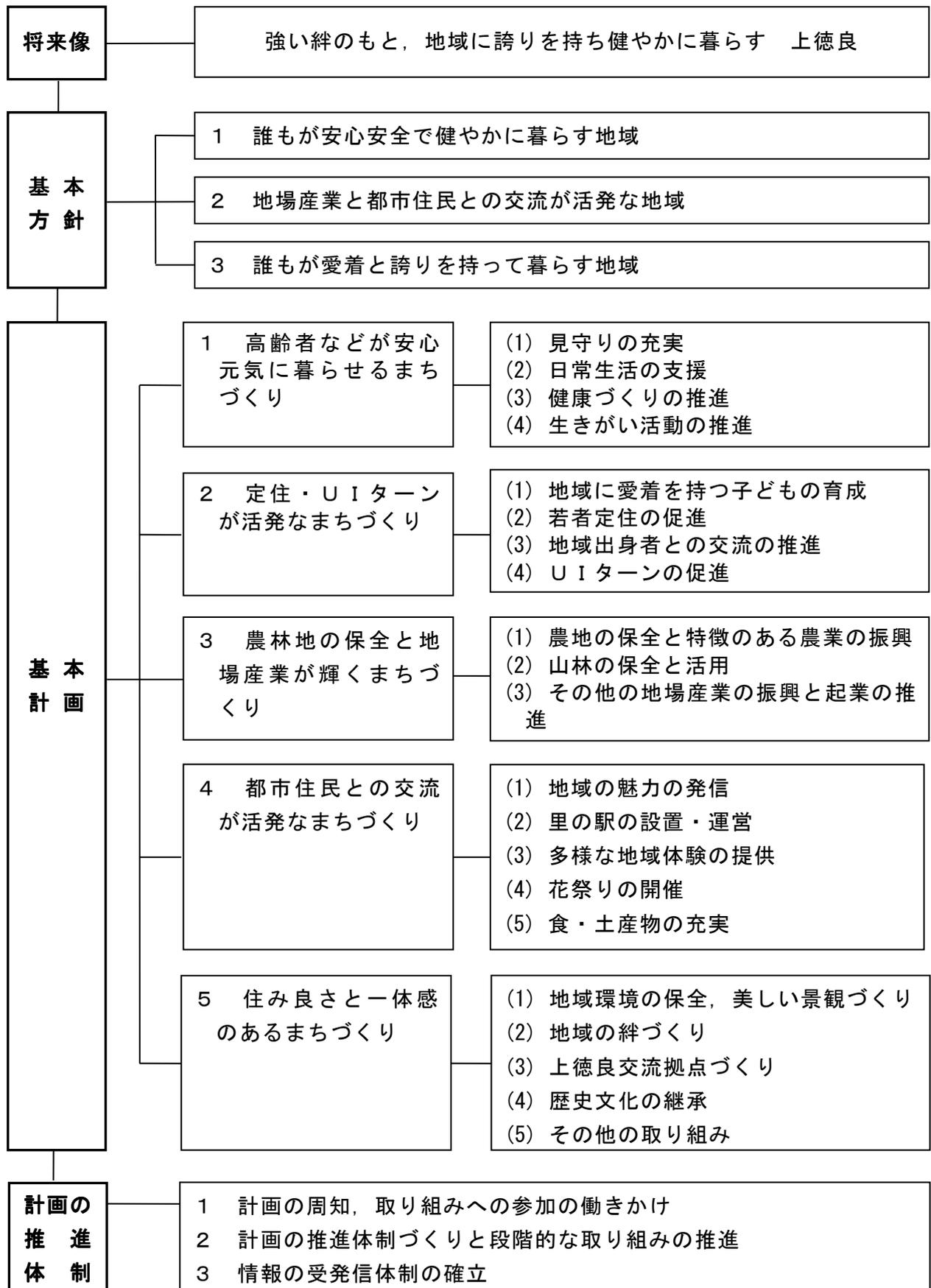


#### <上徳良の将来像>

**強い絆のもと，地域に誇りを持ち健やかに暮らす 上徳良**

地域の将来像の実現に向けてのまちづくりの体系は次のとおりです。

図 まちづくりの体系



## 2 まちづくりの基本方針

地域の将来像を実現するために、3つの基本方針を掲げます。

### 1 誰もが安心安全で健やかに暮らす地域

高齢者などの暮らしや子育てに対する支援，住民相互の強い絆のもとでの交流，支え合いを進め，誰もが安心安全で健やかに暮らす地域の実現を目指します。

### 2 地場産業と都市住民との交流が活発な地域

特徴のある農業，世界有数の養鯉業などの地場産業の振興を図るとともに，立地条件と多彩な資源を活かした都市住民との交流などを進め，地場産業や都市住民との交流が活発な地域の実現を目指します。

### 3 誰もが愛着と誇りを持って暮らす地域

地域体験豊富な子どもの育成や若者の定住及び緑豊かな農山村環境に魅力を感じる人のU I ターンを促進するとともに，地域における多彩な交流と絆づくりを進め，誰もが地域に愛着と誇りを持って暮らす地域の実現を目指します。

### 3 まちづくりの基本計画

地域の将来像及び基本方針を踏まえて、まちづくりの基本的方向とそれぞれの取組事項を掲げます。

取組事項の内容は、アンケート調査結果、まちづくり意見交換会（ワークショップ）、上徳良地域計画策定委員会における意見をもとに、自治振興会をはじめとする各種団体及び地域住民が主に取り組み主体となる事項をとりまとめました。

#### 1 高齢者などが安心元気に暮らせるまちづくり

一人暮らし世帯をはじめとする高齢者のみの世帯が安心安全に暮らせるように、見守り、日常生活の支援などに取り組みます。

また、高齢者、障害者をはじめとする住民が健康で元気に暮らせるように、健康づくり及び生きがい活動の推進に取り組みます。

##### (1) 見守りの充実

- ・現在、見守りの対象を75歳以上の高齢者としていますが、各種団体と連携して見守り体制を強化（サポーターの増員）し、見守り対象年齢の拡大に取り組みます。

##### (2) 日常生活の支援

- ・世羅町中心部へのアクセスの向上を図るため、「大和ふれあいタクシー」と「せらまちタクシー」が乗り継げるように関係機関に働きかけます。
- ・社会福祉協議会、シルバー人材センターとの役割分担に配慮しながら、各種団体と連携して高齢者、障害者などの日常生活での困りごとに対する支援に取り組みます。
- ・外出が困難な高齢者、障害者の買い物を支援するため、移動販売事業者と連携し、地域内巡回移動販売の仕組みづくりに取り組みます。

##### (3) 健康づくりの推進

- ・健康寿命の増進を図るために、3B体操などを行う健康体操教室の開催に取り組むとともに、家庭でできる健康体操の普及に努めます。
- ・家庭で使われていない運動器具を集め、住民の健康づくりへ活用します。
- ・50歳代からの健康体操の実施、食生活の改善などについての意識啓発に取り組みます。
- ・男性が一人暮らしになった時に栄養バランスに配慮した食生活が維持できるように、男性料理教室の開催に取り組みます。

##### (4) 生きがい活動の推進

- ・小地域サロンの充実を図るとともに、地域全体を対象とした「上徳良高齢者サロン（仮称）」の設置・運営に取り組みます。
- ・小地域サロン、上徳良高齢者サロン（仮称）へ男性の参加を促進するため、プログラムの改善、充実に取り組みます。
- ・元気な高齢者の生涯学習活動を推進するとともに、高齢者の知恵・技術を活用して働くことができる場（小遣い程度の収入）の確保に取り組みます。

## 2 定住・U I ターンが活発なまちづくり

地域で育った子ども、若者の定住を促進するため、様々な地域体験の提供を通じて地域に愛着を持つ子どもの育成、若者が交流しやすい環境づくりなどに取り組みます。

また、都市住民との交流とU I ターンを促進するため、地域情報の発信、相談支援体制の整備などに取り組みます。

### (1) 地域に愛着を持つ子どもの育成

- ・子どもの交流を推進するため、上徳良コミュニティホーム、上徳良山村広場、堂々原公園を活用して、子どもが自主的に遊べる場の確保に取り組みます。
- ・夏休みなどを活用し、地域の子どもの自然、歴史文化、農林業学習などの機会の提供に取り組みます。特に、高齢者の持つ知恵・技術（梅干し漬け、らっきょう漬け、餅・おはぎづくり、お茶加工、わら製品づくりなど）の伝承に取り組みます。
- ・地域の農家、事業所などと連携して子どもにキャリア学習の場を提供し、将来地域での就業に結びつけます。

### (2) 若者の定住の促進

- ・独身の若者の交流を促進するため、地域における出会いの場の確保に取り組みます。
- ・子育て世帯の交流を推進するため、20歳代、30歳代、40歳代など共通の話題で話しやすいグループづくりに取り組みます。

### (3) 地域出身者との交流の推進

- ・地域出身者にまちづくりへの応援団として参加してもらうため、出身者の名簿づくり、地域との交流意向の把握、地域情報の発信、出身者との交流会の開催などに取り組みます。
- ・住宅、農地などの所有者に対しては、これらの管理、活用の支援に取り組みます。

### (4) U I ターンの促進

- ・住宅、就業先などのU I ターンに関する地域情報を自治振興会のホームページなどで広域的に発信する体制づくりに取り組みます。
- ・空き家を活用してU I ターンを促進するため、空き家所有者とのネットワークづくり、空き家所有者の意向把握を行い、三原市の空き家バンクと連携した空き家情報の発信、U I ターン希望者に対する相談支援などに取り組みます。
- ・U I ターン希望者が一時滞在して地域体験ができるように、空き家を活用した宿泊施設の設置・運営に取り組みます。
- ・U I ターン者が、安い家賃で一人暮らしの高齢者と共同居住し、高齢者の日常生活を支援する暮らし方についてのニーズを把握し、具体化の可能性を検討します。

### 3 農林地の保全と地場産業が輝くまちづくり

農地の保全，活用を図るため，鳥獣被害防止対策の強化，農業関係団体の連携による保全体制づくり，多様な担い手の確保，遊休農地の活用などを行うとともに，特徴のある農業の振興を図るため，農産物のブランド化，販路の拡大などの支援に取り組みます。

また，荒廃が進む山林の保全と活用を推進するほか，養鯉業をはじめとする地場産業の活性化，起業に取り組みます。

#### (1) 農地の保全と特徴のある農業の振興

##### ア 鳥獣被害防止対策

- ・鳥獣被害の防止を強化するため，地域全体で三原市の助成制度を活用しながらイノシシなどの共同防護柵の設置・拡充，狩猟免許，捕獲わな免許取得の支援などに取り組みます。
- ・野生動物との共存方策について，先進事例の調査，研究に取り組みます。

##### イ 農地保全体制づくりと農業の担い手の確保

- ・中核農家，農業生産法人，中山間地域等直接支払制度締結組織，保全会などの組織と連携して，地域全体で農地を維持・保全する体制づくりに取り組みます。
- ・農業の担い手を育成するため，地域の若者の農業への関心を高めるとともに，交流しながら農業研修をできる場の提供に取り組みます。
- ・地域外から農業の担い手を受け入れるための体制づくりに取り組みます。  
(研修を受け入れる中核農家及び農業生産法人の確保，住宅の斡旋など)

##### ウ 遊休農地の活用

遊休農地の活用を図るため，都市住民を対象とした市民農園，子ども向け体験農園(芋掘り体験など)の設置・運営に取り組みます。

##### エ 特徴のある農業の振興

- ・桃，イチゴ，ブドウ，レンコンなどの農産物のブランド化を一層推進するため，中核農家，農業生産法人の連携による生産技術の向上，生産規模の拡大を支援します。
- ・中核農家，農業生産法人などと連携して農産物の加工，販路の拡大(消費者への直販，インターネット販売など)に取り組みます。
- ・地産地消の推進，農業所得の向上に資するため，(主)本郷大和線沿道(ドッグラン大和付近)に農産物直売所の設置・運営に取り組みます。

#### (2) 山林の保全と活用

- ・豊富にある竹を活用し，竹チップ，竹粉末，竹肥料の製造や間伐材を活用した薪づくりに取り組みます。(竹，間伐材は，各家庭が伐採，作業所に搬入)
- ・住民の里山保全への関心を高めるきっかけづくりとするために，シイタケ栽培に取り組みます。
- ・山林を整備し，マツタケ山の復活に取り組みます。

### (3) その他の地場産業の振興と起業の推進

#### ア その他の地場産業の振興

- ・世界有数の養鯉業の事業所のほか、様々な事業所が立地しており、こうした事業所と連携して地域の活性化に取り組みます。

#### イ 起業の推進

- ・美しい上徳良の景観づくり（景観作物，花の植栽）と併せて，ハチミツづくりに取り組みます。
- ・津久～秋広の標高差を活用した小水力発電，水質の良い湧き水を活用したミネラルウォーターづくりに取り組みます。
- ・地域景観，防災に配慮しながら里山，休耕田を活用した太陽光発電に取り組みます。
- ・捕獲した有害鳥獣の解体，加工，販売及びジビエ料理店の設置・運営に取り組みます。
- ・どぶろく特区の指定を受け，どぶろくの製造，販売に取り組みます。
- ・ドッグラン大和を核としたペットの里づくりに取り組みます。

## 4 都市住民との交流が活発なまちづくり

都市住民との交流を推進するため、観光客の通行が多い立地条件を活かすとともに、地域の魅力の発信、都市住民との交流拠点になる里の駅の設置・運営、多様な地域体験の提供、花祭りの開催及び食・土産物などの充実などに取り組みます。

### (1) 地域の魅力の発信

- ・観光・交流情報を広域的に発信するため、インターネットを活用した情報発信（ホームページ、フェイスブックなど）に取り組みます。特に、写真、動画などで上徳良の魅力を世界に発信します。
- ・観光・交流情報を幅広く発信するため、観光協会などと連携した情報発信に取り組みます。

### (2) 里の駅の設置・運営

- ・山陽自動車道～フライトロード～フルーツロードを経て世羅町に至るコース沿いに位置し、土曜日・日祝日などに観光客の通行が多いことを活かして、「かみとくら」里の駅（仮称）の設置・運営に取り組みます。

表 「かみとくら」里の駅（仮称）の施設イメージ

区 分	内 容
場 所	・（主）本郷大和線沿道（児田交差点付近） ※上徳良への玄関口（市道を経て上徳良地域へアクセス）
施 設 構 成	・青空市場（仮設テント）、駐車場、トイレ ・立ち寄り客の動向を踏まえて、施設規模の拡大
販 売 品 目	・桃、イチゴ、ブドウ、レンコンなどの農産物 ・椎茸、山菜、竹製品、薪など ・鯉 ・飲み物、地場産品を加工した惣菜、弁当
その他	・イノシシ、シカなどのジビエ料理の提供

### (3) 多様な地域体験の提供

- ・養鯉場と連携し、鯉の生態を学習する場の設置（錦鯉展示館など）に取り組みます。
- ・野菜収穫体験（サツマイモ、ジャガイモ、レンコン掘りなど）、山菜採りなどの農山村体験の提供に取り組みます。
- ・ポニーとの交流体験の提供、清流を活用した溪流魚の釣り堀、なだらかな山並み沿いのハイキングコースづくりに取り組みます。

#### (4) 花祭りの開催

- ・本地域で咲く様々な花を活用して、既存の桜、桃、レンコン、サツキ、今後植栽する景観作物などの開花時期に花祭り（花見会、写真コンテスト、撮影会など）を開催し、本地域の魅力のPRに取り組みます。

表 花の開花時期

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
桜			■									
桃				■								
サツキ					■							
レンコン						■	■	■				

#### (5) 食・土産物の充実

- ・既存の農産物だけでなく、特徴のある農業、世界に誇る養鯉業、その他の事業所と連携して、新たな土産物の開発に取り組みます。
- ・「かみとくら」里の駅（仮称）で、地場食材、イノシシなどのジビエ肉を活用したレストランの設置に取り組みます。

## 5 住み良さと一体感のあるまちづくり

住み良いまちづくりを推進するため、地域環境の保全、美しい景観づくり、安全な環境づくりなどに取り組みます。

また、地域全体の一体感を醸成するため、地域の絆づくり、上徳良の交流拠点づくり及び歴史文化の継承などに取り組みます。

### (1) 地域環境の保全、美しい景観づくり

- ・地域環境の維持・保全を図るため、道路沿道の草刈りや河川・水路の清掃活動を充実・強化します。
- ・多様な動植物が生息する里地里山の維持、保全に取り組みます。
- ・地域全体の美しい景観形成を図るため、堂々原公園の桜、サツキロードの管理を充実するほか、遊休農地への景観作物、道路沿道への花の植栽などに取り組みます。

### (2) 地域の絆づくり

#### ア 情報伝達の強化

- ・若者への情報伝達を強化するため、電子メール、SNSなどによる地域情報の発信に取り組みます。
- ・住民一人ひとりが地域及び地区行事へ参加する際、隣近所で誘い合い参加する取り組みを推進します。

#### イ 地域を挙げての交流の推進

- ・津久、秋郷、光永、後谷、前兼、信影の枠を超えた上徳良全体の絆づくりのため、様々な交流会、地域全体のイベント開催などに取り組みます。

#### ウ 行事の魅力化

- ・担い手及び参加者が減少しつつある行事の見直しに取り組みます。
- ・盆踊り・夏祭りの活性化に加えて、上徳良地域全体を対象とした特徴のあるイベントの企画、開催に取り組みます。
- ・住民及び事業者の参加により実施しているイルミネーションを地域全体に拡大することに取り組みます。
- ・子ども向けまたは子どもが主役になる場を設けたイベントの開催回数を増やすことを通じて子育て世帯の地域行事への参加を促進するとともに、その後の地域活動への積極的な関わりを期待します。

#### エ 青年組織づくり

- ・若者や子育て世帯の交流を推進するとともに、地域活動の担い手としての参画を促進するため、青年組織づくり（青年会、自治振興会青年部など）に取り組みます。

### (3) 上徳良交流拠点づくり

- ・上徳良コミュニティホーム，上徳良山村広場，堂々原公園一帯を本地域の交流拠点と位置づけ，環境整備や地域全体を対象とした様々なイベントの開催に取り組みます。
- ・上徳良コミュニティホームについては，地域の交流及び生涯学習の拠点としてのイメージを強化するため，法面への芝桜の植栽に取り組みます。
- ・水車小屋，憩いの場，六角堂，桜の植栽などがある堂々原公園について，園内管理の充実，花きの植栽などのほか，駐車場，トイレの整備に取り組みます。また，園内施設を活用して，ウォーキング，花見会，ホテル観賞会などのイベントを開催し，地域住民の交流を推進します。

### (4) 歴史文化の継承

- ・子どもから大人まで幅広い参加のもと，とんど，盆踊りなどの伝統行事，白龍太鼓の復活などに取り組みます。

### (5) その他の取り組み

- ・安全な交通環境を確保するため，地域で車両の安全運行を働きかける看板の設置に取り組むほか，関係機関に車両の速度制限，信号機及び横断歩道の設置などを働きかけます。

## 4 計画の推進体制

### (1) 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

- ・住民へあらゆる機会を通じて「上徳良地域まちづくり計画」を周知するため、「上徳良地域まちづくり計画」概要版の全戸配布，各種団体の会合などで「上徳良地域まちづくり計画」の説明を行うほか，今後のまちづくり活動への参加を働きかけます。

### (2) 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

#### ア 計画の推進体制づくり

- ・まちづくりへの当事者意識を住民一人ひとりが持つように働きかけるとともに，こうした住民の幅広い参加によるまちづくり実行体制を確立します。特に，女性，若い世代が参加しやすい実行体制づくりに取り組みます。
- ・本地域の各種団体との連携を強化し，一体的かつ幅広い活動を推進します。
- ・人材バンクの設置，登録により，適材適所の人材活用（できる人，やりたい人，ボランティア）を行います。

#### イ 段階的な取り組みの推進

- ・計画の優先順位付け（地域の重点課題への対応）を行い，段階的な取り組みを推進します。

#### ウ 取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成

- ・住民，各種団体，企業などとの連携を強化します。
- ・地域出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援を活用します。
- ・講習会，研修会，先進地視察などの実施による人材の育成を図ります。

### (3) 情報の受発信体制の確立

#### ア 地域内への情報発信

- ・自治振興会便りの充実に取り組みます。
- ・若者世帯などに対し，インターネットなどを活用した情報の発信に取り組みます。

#### イ 地域外への情報発信

- ・インターネットを活用した上徳良地域の情報発信体制づくりを行い，地域出身者，都市住民に対して地域の魅力・活動（年間行事・祭りカレンダー），空き家，各種イベントなどの情報を発信することにより，交流を推進します。

#### ウ 人材の確保

- ・上徳良地域のホームページなどを管理，活用できる人材を確保，育成し，タイムリーな情報の発信体制を確立します。

## 資料 計画策定の経緯

日 程	委員会等	協議事項
平成28(2016)年 7月15日(金)	第1回計画策定 準備会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の進め方について</li> <li>・アンケート調査、まちづくり意見交換会などについて</li> </ul>
8月5日(金)	第2回計画策定 準備会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の進め方と周知方法について</li> <li>・アンケート調査、まちづくり意見交換会などについて</li> </ul>
8月24日(水)	上徳良自治振興 会臨時総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上徳良地域まちづくり計画策定の承認</li> </ul>
9月12日～26日	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の実施（16歳以上の住民，小中学生，地域外からの勤務者の方）</li> </ul>
10月26日(水)	計画策定説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定の進め方の周知</li> <li>・計画策定委員，意見交換会(ワークショップ)参加者の募集</li> </ul>
11月18日(金)	アンケート調査 結果報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果の報告</li> <li>・計画策定の今後の取り組みについて</li> </ul>
12月9日(金)	第1回上徳良地 域まちづくり意 見交換会(ワーク ショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力・資源と活用のアイデア，地域の問題点・課題と解決方法について</li> <li>・参加者が関心のあること，取り組みたいこと</li> </ul>
12月25日(日)	上徳良子ども意 見交換会(ワーク ショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上徳良地域の良いところと問題点，こうなっ て欲しいこと，そのためにどうしたらよいか</li> </ul>
平成29(2017)年 1月27日(金)	第2回上徳良地 域まちづくり意 見交換会(ワーク ショップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ別の意見交換</li> <li>・具体的な取り組み</li> <li>・取り組みの優先順位について</li> </ul>
2月24日(金)	第1回計画策定 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画素案の協議，修正</li> </ul>
3月10日(金)	第2回計画策定 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画案の協議，承認</li> <li>・今後の取り組みについて</li> </ul>